

愛顔 かがやけ 池島魂



～「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を目指して～

発行：令和8年9月14日（月）NO13 文責：校長 津田 幸一

学校 HP URL <https://www.nagasaki-city.ed.jp/ikeshima-h/>

言葉を磨く

若いころにある教育雑誌で見つけた児童作文です。
一読して、文中に出てくる担任の先生が、私の小学6年生の頃の恩師と重なる思いがして、強い衝撃を受けたことを覚えています。

「偉大な力」

A子（6年生）

もうすぐ、出番がやってくる。
運動会のかけっこ。A子には分かっていた。決して1番にはなれないことを。走力順で決まった組み分けである。見ている人も、もう結果はおわかりだろう。
心臓のこ動が高鳴る。足ががくがくする。目がぼうつとする。コースラインがゆがんで見える。
A子はあきらめようとしていた。

そのとき、ふと頭にうかんできた、担任の顔と言葉が。

このままでは、「ひきょうもの」になってしまう。
そう思うと、急に力がわきあがってきた。

スタートラインに立つ。
スターターのコールが聞こえる。
A子は、キッとゴールラインを見すえた。

（児童作文）

さすが6年生が書いた作文です。

まず、自分の外に視点を置いて、自分の体験を書いています。

また、短い一文で、テンポよく書いていることで、作者の様子や運動会の情景が、うつり変わる映像として読み手に伝わってきます。競技スタート前に文を終えているのもいいですね。その後を読み手が想像します。

担任の先生が何を言ったのかも同様にあえて書いていません。これもそれぞれに想像が膨らみます。

そして、私は題名が秀逸だと思っています。

あえて、文中には出てこない、「偉大な力」としてきます。これが伝えたいテーマなのでしょう。書かれていない「先生の言葉」こそ、「偉大な力」なのかもしれません。きっと作者は国語科が好きなお子さんでしょう。

さて、本題です。

「言葉」による教育。その大切さ・効果の大きさ。

この作文はこのことに改めて気づかせてくれます。成長途上の子どもたちに、私たち大人が、どんな言葉を与えているのか。これはとても重要であると思います。

NO.12でも、「言葉を磨く」ことを、2学期の重点目標としたことをお知らせしました。言葉は思考（その人の考え方）につながっていくのだと思っています。

ぜひ、わたしたち大人の言葉も大切であるという思いを共有したいです。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2学期始業式

9月1日（水）2学期の始業式を行いました。

行事盛りだくさんの2学期です。それぞれの取組を通して、たくさんの成長があることでしょう。

<講話概要>

2学期の始業式にあたり、児童2人の元気に登校した姿を歓迎し、引き続き「今日も楽しく明日も楽しい学校作り」を目指します。今学期は以下の3つの目標に挑戦します。

○正しい生活リズム：早寝早起き朝ごはんで元気を充電する。

○美しい言葉遣い：温かく前向きな言葉で周りを明るくする。

○時間を意識した行動：時間は他者への敬意であり信頼の基盤。時計を見て自主的に行動する力を養う。

これらを実践し、島全体で最高に楽しい学校を創っていきます。

残り多い2学期に！

<「あいさつレベル」>

LV1 あいさつをされたら返すことができる

LV2 自分からあいさつできる

LV3 自分から元気な声であいさつできる

LV4 「+1」あいさつ

●●さん、おはよう！

今日の給食はカレーだよ。楽しみだね！

あいさつレベル表です。

現段階の子供たちは、「レベル1」と「レベル2」の間かなと見立てています。

もちろん、その日の調子によって違います。時には、レベル3のあいさつができる日もあります。気持ちの良いあいさつができている日は、授業への向き合い方もとてもすばらしいです。加えて、私も元気をもらった気分になります。

さて、レベル3・4については、ソーシャルスキルの4つの基本である「相手の目を見て」「ふざわしい表情で」「聞こえる声の大きさで」「近づきながら」も意識が必要です。

これができると、さらにレベルアップしていくと思っています。

学校と家庭とで、一緒に「気持ちが良いあいさつが溢れる池島小中学校」を目指しましょう！